

2023年度南山大学大学院法務研究科法務専攻

<専門職学位課程> 入学試験 A日程

(2022年7月9日実施)

試験科目：法律科目試験・刑法

配点：100点

次の問題文を読み、XとYの罪責を論じなさい。

【問題文】

1. XとYは、深夜、窓の開いている住居に忍び込んで金品を盗もうと考え、自転車で徘徊していたところ、A方の1階の窓が開いていたので、30mほど離れたところに自転車を止めて、少し歩いてA方の窓から住居に忍び込んだ。
 2. Xが金品を物色する担当であり、Yは窓の付近で見張りを担当することにした。Xは室内を物色し、リビングの引き出しを開けて、現金10万円の入った財布を盗もうとして手をかけたところ、テーブルに置いてあったスマートフォンが突然、鳴動した。
 3. Xは鳴動を止める方法がわからず、このままでは家人が起きだすかもしれないと考え、スマートフォンを手にとって、Yと共に、窓から出て、自転車のほうまで駆けだした。その間に、Yは、上記スマートフォンを地面に叩きつけて破壊し、道路の側道に遺棄した。
 4. Xは、財布の10万円が気に入り、Yにもう一度A宅に侵入しようと誘ったが、Yは危ない目にあうのは嫌なので、ここで待っていると伝えたところ、5分後に、Xが単独で、再度、A宅に侵入しようとした。
 5. Xが窓から侵入しようとしたところ、鳴動で目を覚ましたAに発見され、「誰だ」と一喝されたので、Xは捕まらないように逃げたが、追いかけてきたAにつかまりそうになった。XはYに助けを求めたところ、Yは万一の場合にと持参していた包丁でAを威嚇したが、それに驚いたAは尻もちをついたので、XとYはその場から逃走した。
 6. Aは尻もちをついた際に、全治1週間の臀部打撲の傷害を負った。
-

2023年度南山大学大学院法務研究科法務専攻

＜専門職学位課程＞ 入学試験 A日程

(2022年7月9日実施)

試験科目：法律科目試験・憲法

配点：100点

以下の文章（フィクション）を読み、【設問】に答えなさい。

日本は、自由貿易協定（FTA）、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）、日米貿易協定などさまざまな貿易協定を締結しており、世界的な貿易自由化の風潮もさらに高まっている。外国産の牛肉の総輸入量は、この半年間だけで31万4000トンに至った。

こうした中で、日本の肉用牛農家Xは、飼料費の高騰などを要因とする経営悪化に苦しみながらも、「和牛のオリンピック」と呼ばれる全国和牛能力共進会の「肉用牛の部」において全国10位となったり、農林水産大臣賞を受賞したりした実績もあり、肉用牛の肉質の向上とブランド化を目指し、生きがいをもって日々牛の飼育に励んでいた。

しかしながら、ある日、Xが飼育していた牛が原因不明の新型の病原菌に感染するという事件が発生した。この新しい病原菌は、人体に有害な可能性があるものの、実際に有害であるかどうかの科学的証明は完全にはなされていなかった。しかし、国はヒトに感染する事例の報告はないとしても、人体に対する悪影響や被害発生の可能性を考慮して、感染の疑いのある国内牛はすべて処分することを内容とする「新型ウイルス感染牛対策特別措置法」（以下、本法という。）を制定した。

かつての「口蹄疫対策特別措置法」にならって、本法には、牛を飼育する者等に対して、「事業の再建その他の経営の安定及びその生活の安定を図るため、当該者に対し事業の再建等に必要な資金の無利子の貸付け、当該事業に係る施設又は設備の整備等に要する費用の助成を講ずる」旨の規定はあるものの、補償に関する規定は設けられていなかった。

また、本法によって、感染の疑いのある肉用牛を飼育している農家は、牛の処分を余儀なくされることになった。Xは、飼育している牛すべてを処分することが義務付けられ、そのため、Xは牛を売却することができなくなって、多大な損害を被った。

【設問】

Xは、本法を憲法違反だと考えている。Xはどのような憲法上の主張をするかを述べ、それに対するあなたの見解を論じなさい。

2023年度南山大学大学院法務研究科法務専攻

＜専門職学位課程＞ 入学試験 A日程

(2022年7月9日実施)

試験科目：法律科目試験・商法

配点：100点

次の文章を読んで、各設問に答えなさい。

A株式会社は、平成10年創業の会社である。A株式会社株主であるBは、A株式会社における令和4年6月の定時株主総会（以下、「本件株主総会」）につき、以下のように主張して、本件株主総会の決議の取消しを主張したい。

(1) A株式会社は、その定款に、議決権行使の代理人の資格を出席株主に限ると定めていたが、本件株主総会において、A株式会社の株主である地方公共団体Nはその職員を代理人として出席させ、同じくA株式会社の株主であるM株主会社も弁護士を代理人として出席させ、それぞれ議決権行使をさせていることから、本件株主総会の決議には定款違反がある。

(2) Bは、(1)を主張した訴訟を提起した後の、令和4年11月に、(1)の瑕疵に加えて、本件株主総会における取締役選任決議案に関する質問につき、取締役から十分な説明がなされていないため、説明義務違反による決議取消事由の主張を追加したい。

[設問1] (1)のようなBの主張が認められるかについて検討しなさい。

[設問2] (2)のようなBの主張の追加が認められるかについて検討しなさい。

2023年度南山大学大学院法務研究科法務専攻

<専門職学位課程> 入学試験 A日程

(2022年7月9日実施)

試験科目：法律科目試験・民法

配点：200点

以下のⅠおよびⅡに解答しなさい。

*解答の順序は問わないが、大問番号（ⅠまたはⅡ）および設問番号を明記すること。

*解答用紙は、大問ごとにページを分けて用いること。

Ⅰ 以下の文章を読んで、[設問] に答えなさい。

Yは、親戚にあたるAからA所有の隣接する2筆の土地(79番地の甲地・地積150㎡、80番地の乙地・地積250㎡)を建物所有の目的で賃借し、同土地上に自らログハウス(丙建物)を建築・所有し、丙建物において、妻Zとともに喫茶店を営んでいた。

丙建物の敷地は甲地であり、乙地はもっぱら来客用駐車場スペースとなっていたが、両土地の間に柵などは設けられておらず、一体として利用されていた。ただ、甲地および乙地のいずれも賃借権登記はなされていないものの、丙建物について、税金対策上Z名義で建物所有権保存登記がなされていた。

一方、金に困ったAは、近傍で土地の利活用のための物件を探していた不動産開発業者Xに対し、両地の購入を勧め、Xは、代金も買い得であったこともあってAから両方の土地を買い受けてその旨の所有権移転登記を得た。

[設問] この場合において、甲地および乙地をめぐるXとYとの法律関係を述べよ。

Ⅱ 以下の文章を読んで、[設問1] および [設問2] に答えなさい。(なお、各設問はそれぞれ独立している。)

A銀行は、20XX年5月20日、Bに対して、融資期間を5年として、1200万円の貸付けを行った。この貸付けを実行するにあたって、Bは、Aから担保の提供を求められたものの、担保権を設定できるような資産を有していなかったため、親友であるCに懇請して連帯保証人になることを引き受けてもらった。この際、Cが他にも連帯保証人をつけることを希望していたので、Bが叔父のDに相談したところ、Dは、上記貸付けのために、連帯保証人になると同時に、その所有する甲不動産(評価額1000万円相当)を担保として提供することを申し出たので、Dの甲不動産上にAの抵当権が設定されて、その登記がなされた。さらに、Bの妻の父であるEも、その所有する乙不動産(評価額500万円相当)を担保として提供することになって、上記貸付けのために、Eの乙不動産上にAの抵当権が設定されて、その登記がなされた。

Bは、返済期限になっても、Aに対して貸金を返済することができず、Cは、Aからの請求を受けて、全額(1200万円)をAに対して弁済した。

[設問1] CがBに対して行使できる権利について説明しなさい。

[設問2] CがDおよびEとの関係において行使できる権利について検討しなさい。

以上